

### 河竹繁俊先生胸像

河竹先生は飯田中学卒業（中6回、明治40年3月卒）後、上京して、早稲田大学に学び、坪内逍遙に師事した。師の推挙で、江戸歌舞伎の大作者、河竹黙阿弥家を継いだことは周知の通り。歌舞伎の研究家としての業績も大きい。

前人未到の坪内逍遙訳シェークスピア全集全40巻が完成したのは、逍遙の古希の年、昭和3（1928）年であった。この機に逍遙宿願の演劇博物館の設立が企画され、河竹先生は建設の促進に尽力され、昭和9（1934）年から70歳定年の同48（1973）年まで、館長として演劇博物館を育てられた。

定年の年、先生の代表的著作『日本演劇全史』が学士院賞を受けられたので、併せて盛大な祝賀の会が催された。その記念品として贈られたのがこの胸像である。

胸像の作者は、『稲穂』第2号のこの欄で紹介された「希望」像の作者と同じ、倉沢興世氏である。

（林京平記）



河竹繁俊先生胸像。早稲田大学演劇博物館蔵